

口腔デジタルサイエンス実習（星 憲幸）

Training of Oral Digital Science (Noriyuki Hoshi)

キーワード

- ①CAD/CAM
- ②IOS
- ③デジタルマッチング
- ④DX
- ⑤真度

関連する学位授与方針
DP(ディプロマポリシー)

①,②,④,⑤

関連する教育実施方針
CP(カリキュラムポリシー)

①,②,④,⑤,⑥

授業概要

デジタルデータを用いた歯科臨床の現時点での利用状況を体験し、更に今まで先行研究で得られた内容をIOS/CAD/CAMを中心に実体験する。更に、得られたデジタルデータの解析方法をデジタルマッチング等の技術を用いて体験実習する。

授業科目の学修目標

歯科臨床で求められるデジタル化の内容について、研究方法の立案と分析をするために必要な知識・態度・技能を修得する。

授業計画

- ①デジタルデータ採得実習:20コマ
IOSやモデルスキャナーによるデータ採得とその特徴を理解しながら実習する。
- ②CAD/CAM実習:24コマ
①で得られたデータによるCAD設計と各種装置によるCAM製作法を理解しながら体験し修得する。
- ③データ解析実習:16コマ
①、②を用いて精度や真度などをデジタルデータ解析する方法と検証する基礎的方法を習得する。

教科書および参考書

クリニカルデジタルデンティストリー、日本歯科評論別冊2020:スタッフ用IOS入門 クイテッセンス出版、2024

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

参考書を読み、デジタル機器の取り扱いを熟知して臨むこと。

大学院生が達成すべき行動目標

- ①デジタルデータ採得の実際を理解し実践できる。
- ②CAD/CAMについて理解し実際に活用できる。
- ③データ解析方法について基礎的方法を理解し実践できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	実技	その他
30%	0%	30%	20%	0%	10%	10%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を筆記試験にて判定する。1回:30%
- ・レポートは、指定された課題を提出する。1回:30%
- ・成果発表は、精度検証の結果をもって発表する。1回:20%
- ・口頭試問は、成果発表時に行い理解度を判定する。1回:10%
- ・実技は、デジタルデータ採得法を実際に評価して行う。1回:10%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。